

彦平商店

愛知県豊田市



店舗概要

創業年 1964年(昭和39年)
売場面積 63㎡(19.1坪)
従業員 4人(家族経営)
営業時間 7:00~20:00
定休日 日曜日
売上高 70,919(千円)

商品構成

鮮魚・精肉 25.0%
野菜・果物 40.0%
その他(総合食品) 35.0%

経営方針

- ・過疎化、高齢化が著しい地域において、地域唯一の総合食料品店として、品揃えを充実させ、お客様の視点に立って食料品の供給を行う。
- ・食品販売にとどまらず、地域の福祉にも積極に関与し、地域貢献を行う信頼できる店として経営を行う。
- ・利益追求を第一目的とせず、お客様の満足を第一目的としている。
- ・常に鮮度に気を使い、新鮮さを売りにしている。
- ・高齢者のために惣菜を積極的に製造販売する。

過疎化・高齢化エリアに「なくてはならない総合食料品店」

[過疎化、高齢化の著しい地域で宅配サービスなど地域住民第一の経営を実施]

当店は愛知県豊田市北部(約1kmで岐阜県との県境という中山間地)に所在する総合食料品小売店。

過疎化・高齢化が非常に著しい地域で、マーケットは縮小傾向にあるが、地域唯一の総合食料品小売店として品揃えを充実させ、消費者の視点に立って食料品の供給を行うことを商いとしている。食料品販売にとどまらず、地域の福祉にも積極的に関与し地域貢献を行う信頼できる店を目指している。

具体的には、買物難民のための宅配事業に本格的に取り組み始め、週に3回自店から最長5kmを範囲として宅配を行い、商品価格は店売りと同様にしている。更に宅配事業に加え、高齢者の安否確認を行っており高齢者のリストを作成し、訪問記録を取っている。

利益追求を第一とせず、顧客満足を第一に考え、常に鮮度に気を使って新鮮さを売りにしており、また高齢者のために惣菜を積極的に製造販売している。



←左：移動販売風景
右：高齢者宅への宅配風景

[わかりやすい商品配置に取り組む]

高齢者等の利便性を考え、惣菜の充実強化を図るため中小企業庁の補助金により惣菜製造のための厨房施設等を整備し、これにより惣菜の本格的な製造販売を開始した。商工会から中小企業診断士を派遣してもらいレイアウト指導の下、商品配置及び陳列方法を見直し、わかり易い配置などにも取り組んでいる。

季節的な商品や話題の商品については特設コーナーを設け、提案型の商品陳列を行い短期間で変えるなど購買意欲を高めるよう工夫している。お客様とのコミュニケーションを重視し、精算時以外はレジから離れ、売場でメニュー提案などを行っており、メニューと食材の手書きカードも頻繁に作成している。月1回共同チラシを作成し惣菜製造販売をアピール。POPについても専門家の助言を得て大幅に増やしている。

商店街のポイントカードを活用し、購入メリットを高めるようにしている。

卸先については、利益率は低いが、地元の学校などに積極的に提案営業を行っている。

接客については地元の顔見知りのお客様ばかりのため、特別な対応をしていなかったが、商工会の接客研修を受け、お客様の要望などの声を聴くよう徹底するようにしている。加えて地域のつながりを重視して特産品開発を行い、商品化を進め自店で販売するようにしている。

経営については中小企業診断士を招へいし、財務分析・マーケティングを初め、店舗レイアウト・陳列などの指導を受けており、経営改善の効果が現れている。



【店舗立地】

店舗は愛知県豊田市北部の中山間地の商店街に所在。過疎化・高齢化が進んでいる地域で、買物難民も多い。このため、宅配サービスの実施や、高齢者の安否確認なども行う等地域住民本位の経営を実施している。

【店舗実績】

代表者は46歳。専門学校を卒業後、平成4年から父親の家業の手伝いを始める。

平成26年1月に事業を承継し、個人経営者となる。

中小企業庁の補助金を受け惣菜製造用の厨房施設等を整備し、高齢者向けの惣菜製造販売に乗り出すなど積極的な経営改善に取り組む。

自店での販売に加え、今後も移動販売・宅配に力を注ぐとのこと。